

新しいバルテノン多摩の  
ココが変わる!

## バルテノン多摩改修工事中の館内に潜入!

2月某日、バルテノン多摩共同事業体のスタッフ3人で改修工事中の館内を見学させていただきました!



ヘルメットを装着し2階出入口から入ると、一部の天井や壁がなくなり、広々とした空間が広がっていました! 特別展示室や歴史ミュージアムがあった場所は、まるごとひとつの大空間になっています! リニューアル後は、あたらしいミュージアムと、展示以外の使い方もできる開放的なスペースに生まれ変わるので、どんな使い方ができるか楽しみです。



更に進むと、大ホール入口の壁がなくなって、奥にはモニュメント「蒼穹へ」が見えました。その近くには、楽屋とロビーをつなぐエレベーターが建設中でした。



大ホール客席に入ると、座席が取り外され、ステージまで見渡せなくなるほど足場ははりめぐらされていました。

足場が  
こんなに!

新しくなる大ホールに、期待がふくらみますね! どんな仕上がりになるのか楽しみです!



ここが新しくなる!  
大ホール

改修後イメージ(多摩市提供)



- 客席の幅と、前の座席との間が広くなり、今までよりゆったりと鑑賞できるようになります。
- 客席の配置は、前の座席の方と重なることなく工夫され、前方が見やすくなります。
- ホール中ほどより後方にかけ、やや勾配がつくことで舞台がより見やすくなります。
- ホール後方の親子鑑賞室を、多目的ルームとしてリニューアル。室内を広くし、スロープでも入れるようになります。音響環境もスピーカーの増設により、以前より臨場感が増すようになります。
- 車椅子席を大幅に増やします。ロビーにエレベーターが設置され、中通路までバリアフリーでアクセスできるようになります。
- これまで手動で行っていた吊物機構を電動化することで、今まではできなかった舞台上での表現演出など、使い方の幅が広がります。
- 今までコンクリートだった大ホールの壁は、温かみのあるウッディな仕上げになり、天井も作り変え、大きく印象が変わります。

## 事業報告

### 市民舞台芸術学校発表会



昨年9月から12月まで行った「市民舞台芸術学校」全4講座の成果発表会を、昨年12月多摩美術大学美術館にて行いました。会場の地下1階では「舞台スタッフ講座」の参加者が照明、舞台を担当、「舞台朗読の基礎」の参加者がそれぞれ選んだテキストを朗読しました。2階では、「子ども映像表現講座」の参加者が作成した作品の上映会が行われ、「レセプション講座」の参加者はお客様をお迎えし、場内のご案内をしました。感染症対策のため、発表会は関係者に限った会となりましたが、観覧された方からは「子供たちがそれぞれに自分らしい感覚と個性を生かし、のびのびと活動した成果が表れた作品が楽しめた。」「出演された方々が、皆さん輝いていて表現するという事は、とても大切で必要なことだと強く感じさせられた。」などの感想をいただきました。また、講座の参加者からは「同じ目的を持った色々な世代の方と学べて、とても刺激的で良い経験だった。」「複数の講座の集大成の発表会が設けられているのがとても良かった。」などの感想がありました。講座の様子と発表会をまとめたダイジェスト映像を、バルテノン多摩公式YouTubeチャンネルにて配信しておりますので、ぜひご覧ください。



ニューヨーク

### NYシアターエデュケーションプログラム× バルテノン多摩



1月9日(土)から16日(土)にかけ、バルテノン多摩では初のZoomを使ったオープン企画「NYシアターエデュケーション×バルテノン多摩」を実施しました。このコロナ禍、NYでは早くから対面ではないオンライン形式のシアターエデュケーション(演劇教育)の試みが実践されてきました。その蓄積されたノウハウを、アメリカ在住のステファン・ディメンナさんと森永明日香さんを講師に招き、参加者はワークショップの参加者として、そしてファシリテーターとして様々な角度から学ぶ1週間となりました。今後も引き続き、シアターエデュケーションを行う予定です。

シアターエデュケーションとは…演劇というツールを使った表現体験やゲームから、コミュニケーション力・表現力を高める演劇教育。

シアターエデュケーションとは…演劇というツールを使った表現体験やゲームから、コミュニケーション力・表現力を高める演劇教育。

## バルテノン多摩改修工事に携わっている方にお話を聞きました!



設計監理を担当されている  
ナスカ・東畑・森村設計共同企業体から、  
有限会社ナスカ 一級建築士事務所  
鹿野安司さん(右)、樋口卓史さん(左)

— 今回の工事で、具体的にどのようなお仕事をされているのでしょうか?

樋口 僕らは設計から関わっているのですが、その時から多様な専門家の方々と共同で作りあげてきました。それらの思い描いたことを実際に工事するための図面をチェックし、現場も相違がないかの確認を日々行っています。

— 苦労されていることは何ですか?

鹿野 現場がどんどん進んでいく中で想定外のことも起きるので、限られた時間の中で解決していくのが大変ですね。色々な専門分野があり、工事業種が多様なのでその調整が難しいというか、それがメインの仕事ですね。

— 今回の改修工事でバルテノン多摩が大きく変わるところは何ですか?

樋口 できる限り既存の壁を取り払って、自分がどこにいるかわかりやすくオープンな空間、居心地の良い空間というような「街のひろば」を目指して設計

したので、様々な出会いが生まれるような空間にできたと思います。

— リニューアルオープン後に、来館される方へのメッセージをお願いします。

樋口 設計した側の願望としては、今まで来なかったような方々にも積極的に来館して欲しいですね。それとロビーでコンサートをしたり、大階段を使ってもらうなど、設計で想定していなかった使い方がされて、新たな賑わいが生まれると嬉しいですね。

鹿野 館内は、どこをとっても絵になるように設計しているので、インスタ映えすると思います。是非、たくさんの方に目に来ていただいて、楽しんでいただければと思います。

フルバージョンは  
ホームページを  
ご覧ください



### バルテノン多摩 リニューアルオープンに伴う 貸館申込スケジュール(予定)について

【大ホール、小ホール、オープンスタジオ】

- ① 大ホール、小ホール：2021年6月1日受付開始予定(2022年7月利用分)
- ② オープンスタジオ：2022年2月1日受付開始予定(2022年7月利用分)

【会議室、練習室、ギャラリー等】

2021年10月1日受付開始予定(2022年3月利用分)

※お申込み方法・利用料金など詳細は、4月以降にバルテノン多摩ホームページをご覧ください。



### 多摩市アーティスト支援プロジェクト アート@多摩



新型コロナウイルス感染拡大の影響で文化・芸術活動の自粛を余儀なくされた、多摩市内在住または主な活動拠点多摩市内にあるアーティストを応援するプロジェクト「アート@多摩」。今後の社会経済活動に「希望」を与えるものや、社会全体の停滞感を払拭するような「元気」や「勇気」を与えるもの、コロナ禍の状況で人と人との距離が離れている中、改めて「つながり」や「協力」の大切さを再認識させるものをテーマに募集し、いろいろなジャンルの22組のアーティストの動画作品が集まりました! バルテノン多摩公式YouTubeチャンネルにて配信中です。ぜひご覧ください!

